

第68回男子 第37回女子 沖縄県中学校柔道競技大会要項

- 1 主 催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会
- 2 共 催 那覇市教育委員会
- 3 後 援 沖縄県市町村教育委員会連合会 沖縄県中学校長会 (公財) 沖縄県スポーツ協会
- 4 主 管 沖縄県柔道連盟
- 5 期 日 令和8年7月4日(土)・5日(日)
- 6 日 程 (1) 7月4日(土) : 開 場 9 : 0 0
男女団体戦計量 9 : 1 5 ~ 9 : 4 5
審判・監督会議 9 : 4 5 ~ 1 0 : 0 0
開 会 式 1 0 : 0 0
試合開始 1 0 : 1 5
※団体戦表彰式終了後、男女個人戦出場者の体重測定を行う。(1時間)
(2) 7月5日(日) : 開 場 9 : 0 0
審判・監督会議 9 : 4 5 ~ 1 0 : 0 0
試合開始 1 0 : 1 0
閉 会 式 競技終了後
- 7 会 場 『沖縄県立武道館第三錬成道場』
- 8 申 込 締 切 日 各地区中体連の締切日を厳守すること。
(国頭6/9、中頭6/10、那覇6/11、島尻6/10、宮古6/11、八重山6/9)
- 9 申 込 方 法 県中体連ホームページから大会参加申込用紙をダウンロードし必要事項を入力し、プリントアウトしたものに捺印を受け、各地区専門部長から地区中体連事務局を通じ、一括して県中体連事務局まで申し込むこと。出場チームは申込データを下記宛てに6月12日までにメール送信すること。
※必ず返信メールを確認してください。
※各地区の専門部長は、県大会参加一覧を作成・提出する。(県専門部様式)
【 送信先アドレス : okichyujudo2025@gmail.com 】
- 10 参 加 資 格 (1) 地区中体連大会を経て、地区中体連会長の推薦するチームおよび個人とする。但し、地区大会が開催されない地区については、当該中学校の校長及び地域クラブ活動の責任者が許可し、地区中体連会長の推薦を得たチームおよび個人とする。
(2) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で地区・県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(3) 中学校における引率者の特例
大会の引率に関する特例については、「沖縄県中学校体育大会引率細則」による。なお、詳しくは、沖縄県中学校体育連盟ホームページ「県中学校体育大会引率細則」を参照のこと。
(4) 九州・全国大会への代表権を獲得した場合は県代表としての自覚と責任を持ち、県中体連の計画(計画輸送含む)および指導を遵守し、九州大会・全国大会へ参加できる選手・チームであること。
(5) 沖縄県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。また、地域クラブ活動のチーム・選手の指導者等は、中央競技団体の倫理規定に基づいて、各県競技団体等から処分を受けていない者であることとする。校長及び代表者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、中学校における外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

- (6) 柔道修業期間を6ヶ月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。
- (7) 拠点校部活動や地域クラブ活動の参加資格の詳細については、沖縄県中学校体育大会開催基準「特別規程」による。

11 参加制限

- (1) 男子は1校（1団体）1チームで編成し、監督1名、コーチ1名、選手7名以内とする。
- (2) 男子の個人戦は各階級とも地区予選を経た者で、中頭・那覇・島尻を6名、国頭・宮古・八重山を4名とする。
- (3) 女子は1校（1団体）2チームまで編成できる。1チーム監督1名、コーチ1名、選手4名以内とする。監督は両方兼ねることができる。但し、九州大会への参加は1校（1団体）1チームとする。
- (4) 女子の個人戦は、各階級とも参加制限なし。但し、地区予選にエントリーした者、階級に限る。
- (5) 個人戦の体重区分は次のとおりとする。

男子	50kg級	55kg級	60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級	90kg超級
女子	40kg級	44kg級	48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	70kg超級

12 参加料

参加選手一人につき800円とする。申込みと同時に納入すること。

13 競技形式

団体戦および個人戦をトーナメント方式、決勝リーグ(ベスト4)とする。

14 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2025年4月1日施行の新ルール)および国内における「少年大会特別規定」及び本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 試合時間は団体・個人ともに3分間とする。団体代表戦及び個人戦の延長戦(ゴールデンスコア)は時間無制限とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、団体・個人ともに「一本」「技有」「有効」または「僅差(指導の差2以上)」とする。個人戦においては、「指導」差1以内の場合は、延長戦(GS)を行って勝敗を決する。「技有」2つで「一本」とする。
- (4) 抑え込み時間は、5秒で「有効」、10秒で「技有」、20秒で「一本」とする。
- (5) 優劣の成り立ちは以下の通りとする。
 - ①【団体戦】「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差(指導差が2以上)」
 - ②【個人戦】「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差(指導差が2以上)」
 - ③【延長戦(ゴールデンスコア)】(団体戦の代表戦及び個人戦)
 - 規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、スコアが同等である場合、もしくは、「指導」差1以内の場合、その試合はGSによる延長戦を行う。
 - 延長戦(ゴールデンスコア)においては、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。
- (6) リーグ戦において、3チームによる代表戦になった場合の、勝敗は次の順で決する。
 - ①本戦による、「一本」勝ちの数
 - ②本戦による、「技有」勝ちの数
 - ③本戦による、「有効」勝ちの数
 - ④本戦による、「僅差」勝ちの数
 - ⑤GSによる、「一本」勝ちの数
 - ⑥GSによる、「技有」勝ちの数
 - ⑦GSによる、「有効」勝ちの数
 - ⑧GSによる、「僅差」勝ちの数
- (7) 「逆背負投げ」(通称)のような技を施すこと。両袖を持って技を施すこと。これらを行った選手に反則「指導」を与える。(2024.4.1より施行)

- 15 競技方法 (1) チームの編成は体重の軽い順(先鋒～大将)に編成する。補員起用の場合も体重順に編成する。
 ※但し、3名しかいない場合は先鋒・次鋒を空ける。4名しかいない場合は先鋒を空けた編成とする。女子チームの編成は、2名しかいない場合は、先鋒を空ける。
- (2) トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
 ① チーム間における勝ち数の合計による。
 ② ①において同等の場合は、勝ちの内容による。
 ③ ②において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
 ※代表戦に出場する選手は、試合を行った者の中からチームで自由選出する。
- (3) リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
 ① チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 率については、3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
 ② ①において同等の場合は、勝ち数の合計による。
 ③ ②において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 ④ ③において同等の場合は、負け数の合計による。
 ⑤ ④において同等の場合は、負けの内容により決定する。
 ⑥ ⑤④において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。(自由代表)
 ⑦ ⑥団体戦において2チーム以上が同等の場合は、代表者によるリーグ方式で決定する。
 ⑧ 個人戦においても同上的方法で決定する。
- 16 組合せ 本部(専門部)抽選とする。 6月19日(金) 15:30
- 17 表彰 団体は第1位～第3位、個人は各階級第1位～第3位までを表彰する。
- 18 その他 (1) 男女団体戦第1位・第2位および男女個人戦各階級第1位・第2位の者へは九州中学校体育大会への資格を与える。
 (2) 男女団体戦第1位および男女個人戦各階級第1位の者へは、全国中学校体育大会への参加資格を与える。
 (3) 全国・九州中学校柔道大会において、同一チームで男女ともに出場権を獲得しているチームは、それぞれにコーチをおくことができる。
 (4) 柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(団体名・姓名入り)
 ① 布地は白とし、サイズは縦25～30cm、横30～35cmとする。
 ② 名字(姓)は上側2/3、団体名は下側1/3とする。
 ③ 書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書でもよい。)
 ④ 文字は、男子が黒色、女子は濃い赤色とする。
 ⑤ 襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
 (5) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
 (6) 全国・九州中学校柔道大会においては(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(新規格の赤色マーキングのもの)帯に関しては、女子も男子同様に白線の入っていない帯を着用する。
 (7) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した者は、大会への出場ができない場合もある。

- (8)大会中、脳震盪受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の検査を受けること。)
- (9)中学生の試合においては、絞技を禁止とし、施した場合には「指導」を与える。故意ではなかったが、絞技が極まった場合は、「待て」とする。
- (10)大会中に生じた傷害については、応急処置にとどめる。
- (11)監督・コーチ・変更届けは県専門部長へ7月3日15:00までに提出とする。
- (12)県中体連では別紙「個人情報保護方針」に基づき、県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。
- (13)本大会に関わる全ての者の感染症対策については、沖縄県中学校体育連盟の「感染症等に関わる対応について」に従うこと。
- (14)ベンチ入りする監督・引率・コーチの服装は、審判員に準ずる。